

谷や屋島で平氏と戦い、奥州征伐でも活躍したといわれています。しかし、幕府の権力争いにまきこまれ、鎌倉に向かう途中、鶴ヶ峰付近で討ち死にしました。地元の人たちは、その人柄をしのび、八百年以上たった今も語り継いできました。旭区内には、重忠ゆかりの史跡がたくさん残っています。

そのすぐ近くには大谷翔平選手が幼少期に参拝していたと言われる鶴ヶ峰稲荷神社があります。御利益をいただきたいと参拝してきました。



今月の食育コラムです! 「食で学ぶ 食を学ぶ」 料理研究家 長島 由佳

2022年 新しい年が始まりました。穏やかで天候に恵まれた新春でした。寅年の一年も、暖かな日差しのような良き一年でありますようにと、天を仰いで願いました。

さて、各ご家庭では、どのようなお正月を迎えられたでしょうか。年末からの慌ただしさから一変し、ゆっくりとお過ごしになられたでしょうか。受験生を抱えるご家庭では、様々なところに気を配られながらの日々だったことでしょうか。

お正月には、赤い実をつけた千両や万両・南天などが玄関や床の間などを彩ったご家庭も多いことと思います。彩り良いだけではなく、赤い色が厄除を現し縁起物として大切にされてきたからです。

その中でも南天は鑑賞として美しいだけでなく、薬効なども期待されてきました。葉には殺菌作用や防腐作用もあるとのこと。お赤飯やお祝い弁当などに添えられます。赤い実には咳や喉あれに効果のある成分があり、古くから生薬として利用されてきました。南天のど飴など様々に商品化されている現代ですが、先人の見極める力に改めて感服するところです。

その先人は、日々の暮らしの中に季節の恵みを取り込み、食と絡めてきました。正月7日目にいただく「七草粥」、11日にお供え餅を汁粉やかき餅にいただく「鏡開き」。お正月によく食べ飲みして疲れた胃腸を労るためにも、無病息災を願いながら体に優しいものをいただくよう工夫したのでしょう。食べ物を無駄にせず、体をいたわり、家族の健康を願うシンプルな年中行事だと思いました。

環境を考え取り組むSDGsも、人が暮らす上でのシンプルな思考と行動を行うことで誰でも取り組める活動だと思います。難しく考えず、先人の思いを大切にしていけることでも、その目的は達成できると思います。いつまでも、穏やかなお正月を迎え続けることができるように、一人ひとりが「衣・食・住」に取り組んでいける1年としていただければ幸いです。

子ども達が美しい空を仰ぎ続けられるよう、一緒に取り組んでいければ幸いです。今年一年、どうぞよろしく願いいたします。

【お知らせ】

○西山沙織先生がご出産のため2月1日より産休に入ります。元気な赤ちゃんをお待ちします。そして田中健一郎先生が授業を担当します。よろしく願いいたします。